

## 令和6年度 第1回学校運営協議会

日時：令和6年6月20日（火）

会場：大阪府立豊中高等学校能勢分校 会議室

出席者：12名

能勢分校会議室において、第1回学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会委員6名、学校側からは准校長、教頭、課長補佐、首席が出席しました。

1回目の運営協議会では、授業見学をしていただいた後、委員、事務局の紹介などを行い、学校運営協議会要項の見直し、今年度の能勢分校の計画、課題や方向性について議論しました。

### 内 容

協議 15:25～16:55

#### 1. 准校長挨拶

- ・今年度は全校生徒77名。少人数を強みに自己実現や目標達成できる環境づくりを続けていきたい。
- ・運営協議会委員の皆様には、学校づくりのアドバイスをいただきたい。

#### 2. 委員紹介及び事務局員自己紹介

#### 3. 実施要項、意見書について

#### 4. 協議事項

- (1) 授業見学について
- (2) 学校経営計画及び学校評価について
- (3) 本校の課題について

#### 5. 協議

##### (1) 授業見学について

【委員】学年をまたいだ授業（2・3年合同授業）があることを知った。生徒一人の授業もあって少人数でも真剣に取り組んでいるのが印象的。映画などを題材に生徒の興味を持たせようと取り組んでいる授業もあり、よかった。

各教科で扱う内容が変化している。大学生に比べて、生徒間でのコミュニケーションをとり、教える・教えられるの関係がみられた。生徒と共に成長していく視点が大事。環境について学んでいたのが良い。取り組みを外部にPRして多くの生徒に来てもらいたい。

（複数の委員が少人数での授業の様子を評価した。）

【教職員】勉強会でツールのより良い使い方を共有している。ICTを使いだすと生徒のほうが早い。生徒のアウトプットの技術が上がっている。国語では黒板に文章を書く時間が減り生徒にあてる時間が増えた。

##### (2) 学校経営計画及び学校評価について

【准校長】スクールミッション、グラデュエーションポリシー、中期的目標（単元テスト、ICT、主体的・能動的学習、越境の取り組み強化、フィリピンスタディーツアー、人工知能IOTなど）、教員の働き方、学校の広報の説明がされた。

**【委員】**

能勢町外からきている生徒の支援の方法について。

→ その地域のSSW等を通じて対応している。

地域の中学校からの進学について。パネルなどを作り、中学校に設置して保護者にPRできないか。9年間の中でより深く地域と繋がっているのので、中学校でやってきたことが高校にも繋がっていけばよいと思う。能勢ささゆり学園の発表会などに参加してはどうか。例えばささゆりフェスタの場でブースを持つなど、保護者や地域への発信・交流をしてはどうか。

フィリピンスタディーツアーの対象は。英語力の向上を進めてほしい。

→ 2年生対象としている。現地では基本的には英語を用いる予定。

**【准校長】DXハイスクールと地域連携の説明**

デジタル環境を地域に。3Dプリンターやドローンに触れる機会になる

(3) 本校の課題について

**【教職員】**別紙について説明。課題探究GS最終発表会についてお知らせ。自習場所について、生徒が勉強できる場所の相談、など。

**【委員】**町の図書館や公民館、浄瑠璃シアターや新庁舎のフリースペースも活用してはどうか。

(4) その他

教科書について説明

6. 連絡ほか

第2回 11月26日(火) 13:10~16:55

以上